

町家利活用プロジェクト会議

平成24年度取り組み内容

(1) 町家等の有形文化財の登録に係る手続き等の支援

本市中心市街地に残る町家等の歴史的に古く、文化財として価値の高い建築物を保存・継承するとともに大津百町の風格あるまちなみの質的向上を図るため、活性化協議会及び大津市が有形文化財として登録に至るまでの連絡調整・手続き等支援を平成21年度より行っている。

平成23年度調査分の6件11棟について、下記のとおり文化審議会より答申または答申を受けて官報告示され登録原簿に登録された。また、中心市街地区域外となるが長等公園近くにある橋本家住宅（旧正蔵坊）についても答申を受けた。

今年度は、3件（中央二丁目、京町一丁目、京町二丁目）の建築物について手続きに必要となる調査を行った。本調査に基づき、平成25年度に文化庁による視察を受ける予定である。

(過去の実績) 14件30棟 (当PJ会議によるもの以外を含めると 17件33棟)**H21 5件12棟**

1. 北川家住宅	①主屋 ②土蔵	H22.3.19 答申	H22.5.20 官報告示
2. 佐野家住宅	①主屋 ②土蔵	H22.3.19 答申	H22.5.20 官報告示
3. 初田家住宅	①主屋 ②土蔵 ③塀	H22.3.19 答申	H22.5.20 官報告示
4. 桐畑家住宅	①主屋 ②離れ ③土蔵	H22.3.19 答申	H22.5.20 官報告示
5. 石田家住宅	①洋館 ②主屋	H22.3.19 答申	H22.5.20 官報告示

H22 3件7棟

1. 森本家住宅	①主屋 ②門塀	H23.3.18 答申	H23.7.25 官報告示
2. 小川家住宅	①主屋 ②土蔵	H23.3.18 答申	H23.7.25 官報告示
3. 豆信	①料亭 ②門塀 ③蔵	H23.7.15 答申	H23.10.28 官報告示

H23 6件11棟

1. 中野家住宅	①主屋 ②離れ ③土蔵	H24.4.20 答申	H24.8.13 官報告示
2. 中野家住宅	①主屋 (でんや)	H24.4.20 答申	H24.8.13 官報告示
3. 木村家住宅	①主屋 ②土蔵	H24.4.20 答申	H24.8.13 官報告示
4. 太田家住宅	①主屋 ②塀	H24.4.20 答申	H24.8.13 官報告示
5. 川嶋家住宅	①主屋 ②土蔵	H24.4.20 答申	H24.8.13 官報告示
6. 阪本屋		H24.9.21 答申	

その他 3件3棟

1. 魚忠		H13.11.16 答申	H14.3.12 官報告示
2. 旧大津公会堂		H22.12.10 答申	H23.1.26 官報告示
3. 橋本家住宅 (旧正蔵坊)		H24.9.21 答申	

(2) 建物探訪地図「大津百町のまち遺産」の改訂・増刷 (別添「まち遺産マップ」参照)

平成22年度に作成した、「登録有形文化財」や大津市において指定された「重要景観広告物」をはじめとする「大津百町の歴史的資源」を紹介する町歩きマップの改訂・増刷を行った。

主な改訂内容としては、前回作成以降に登録や答申を受けた登録有形文化財（橋本家住宅）の反映及び大津町家コラムの記載、マップ表面の枠に町家の写真を添付など。

(3) 旧町名看板設置に向けた取り組み

「旧町名看板設置事業」は、本プロジェクトにおいて平成21年度に試作した看板デザインを基に、大津市が平成22年度より旧町全100カ町に旧町名看板の設置を目指し事業を進めている。

今年度は、藤尾学区の旧町10カ町を対象に15枚の看板の取り付けを行う。当プロジェクトは、看板の設置に関する地元との調整等を大津市と共同で行い、事業を円滑に進めた。

(過去の実績) 中央学区及び逢坂学区、平野学区の旧町62カ町を対象に169枚の看板を設置



(上小唐崎町)



(中京町)



(和泉町)

(4) 大津百町・町家じょうほうかん

平成24年2月に開催した「空き町家等見学会」において紹介した物件について、見学会後に町家じょうほうかんの活動情報を知り、問い合わせをいただいた方の契約が成立し、平成24年10月に町家を改装したギャラリー「ギャラリーオー」(丸屋町商店街)としてオープンした。貸し画廊とカフェスペース、各種教室を行うスペースがあり、カルチャースクールに利用されるとともに、能装束や歌舞伎装束等を展示した展覧会や有名漫画家の原画展等の企画展が開催されるなど、町家を活用した取り組みとして非常に素晴らしいモデルとなっている。



(5) 足元観光案内板「ふっと見る」の貼り替え

平成18年3月に設置した、まちなかの隠れた名所の解説板「ふっと見る」のうち、「大津事件の碑」、「大津米会所」、「札の辻」について、劣化し損傷が酷く剥がれて落ちてしまったことから、新しいプレートに貼り替えを行った。



大津事件



大津米会所



札の辻

(6) 福知山市視察

平成 25 年 2 月 26 日、第 14 回近畿中心市街地活性化ネットワーク研究会（福知山）に赴き、福知山市内のまちなか視察および全体会に参加した。



「(仮称) 市民交流プラザふくちやま」
建設風景
(福知山駅周辺賑わい創出事業)



福知山城歩道橋より俯瞰する
「ゆらのガーデン」
(城周辺賑わい創出拠点)



アーケード撤去された
「広小路商店街」
(広小路リニューアル事業)

福知山市中心市街地活性化基本計画によると、城下町としての特性を「強み」として活かしたまちづくりをめざしており、福知山城天守閣をランドマークと位置付け、「玄関口をつくる」「城と街をつなぐ」「城と駅をつなぐ」「まちなかを動かす」の 4 つの基本戦略に沿った 2 つの活性化軸を構成した上で、中心市街地への玄関口「福知山城賑わいの広場・ゆらのガーデン」のオープン（H24.4）、まちなみ活性化軸への波及を睨んだ「広小路リニューアル事業」、公共公益エリア活性化への波及に導く「福知山駅周辺賑わい創出事業」等が展開されている。そして、4 段階目である、まちなか商店街エリアへの活性化の波及を目論んだ諸事業の中に「町並み・町家利活用プロジェクト」および「まちなか居住促進プロジェクト」が存在する。

まちなか居住促進と地域密着型商業の活性化の方向性・アイデアの中に、見逃されているまちの資源「町家」を活かすことが盛り込まれている。現在、「町家改修住宅モデル事業」、「空き家・空き店舗等ストックバンク」のプロジェクト会議が構想され、また、景観条例およびまちづくり協定の制定に向けて準備中であるとの報告を受けた。

視察研修を終えて、福知山市の地勢条件と観光資源のポテンシャル向上が、これらの事業発展成功の鍵を握るものとの所感をえた。しかし、先ずランドマークを設定し、連携された戦略策定とそれに沿う活性化軸を謳った基本構想は、「まちづくり」と中心市街地活性化の関係ビジョンの構築に優れたものと評価できる。また、行政・商工会議所・まちづくり会社による定例会組織と各プロジェクト会議との協働が機能している活動事例報告もなされた。今回、まち歩き観光ルート上に存在する文化財建物以外に、町家利活用に関係する事業は直接に視察体験することができなかったが、わがまちにも参考となる有効な示唆を得た研究会参加であったことを報告する。

なお、同研究会において、来街者等への“おもてなし”と“情報発信”をテーマとする地域間情報交流会が開催され、大津市の「おもてなし創造発信プロジェクト」の活動を、近畿諸地域の参加者に報告ならびに PR 紹介することが出来たことをあわせて報告する。

(7) その他、大津百町を活かしたまちづくりに関連する取組み等

①旧東海道修景整備事業に伴う地域検討組織「旧東海道まちなみ整備検討委員会」への参加（大津市）

②大津百町市の開催（大津百町市運営委員会）

毎月第三土曜（H24.6 及び H24.11 荒天中止、H23.8 及び H24.1 除く、全8回開催）